

# ところざわ 市議会 だより

平成18年(2006年)10月27日

発行/所沢市議会

編集/議会報委員会

第140号



■所沢航空記念公園内に公式野球場がオープン(並木)

## 計画的な施設修繕に向けた 「施設整備基金条例」を可決

### おもな内容

ページ

- ◆第3回(9月)定例会 おもな議案の概要、議案に賛成×反対します、閉会中の議会活動 ……2~4
- ◆市政に対する一般質問 ……5~7
- ◆請願・陳情審議の結果、可決された意見書、市議会ココ3か月 ほか ……8

## 平成18年 第3回定例会(9月5日→9月22日)

質問・答弁は要旨を掲載しています。なお、会議録は市立図書館、市役所1階・市政情報センターなどで閲覧できます。

# 議案を可決しました 36件

## おもな議案の概要



### 補正予算

補正予算に関する議案は、一般会計、下水道特別会計、国民健康保険特別会計ほか計6件でした。

一般会計の補正額は、24億5、614万8千円の増額を行ったもので、補正後の予算総額は、812億5、334万9千円になりました。

■**財政調整基金積立金** 15億円  
前年度繰越金の一部を財政調整基金に積み立てることで、年度間調整財源の確保とともに、繰越金の明確化を図ります。

平成18年第3回(9月)定例会は、9月5日から22日までの18日間の会期で開会されました。市長からは、一般会計補正などの予算関係6件、所沢市施設整備基金条例制定など条例関係が11件、決算の認定が12件など、48件の議案が提出されました。

この議案のうち、決算の認定12件を9月定例会後の閉会中の継続審査とし、そのほかの議案をすべて原案どおり可決しました。

また、議員から提出された議案3件のうち、決算特別委員会を設置する議案(3ページ下段参照)ほか1件を可決しました。

### 子どもあんしん登下校推進事業委託料 74万円

児童が通学路を点検、観察した結果を反映させた地域安全マップを作成します。

**問** 各学校ごとに今までもマップが作られていたと思うが、どのように違うのか。

**答** 児童自らの目線でマップを作成することで、子どもたちの防犯意識を育て、犯罪に遭わない力をつけるねらいがある。

### 交通安全施設設置工事追加 990万円

県の指定を受けた山口、下富地区の交通事故の抑制、減少を図る

ため、必要な施設を設置します。

### ■仮設建物借料 169万2千円

### ■施設改修工事 750万円

中央公民館建て替え工事期間中の代替施設として、生涯学習センター1の改修、増設および仮設建物の借料をお願いするものです。

### ■障害者自立支援費追加 4億7、006万6千円

障害者自立支援法施行に伴い、予算の組み替えを行うものです。

### ■高齢者福祉施設整備費補助金追加 4、200万円

並木地区で広域型特別養護老人ホームと小規模多機能型居宅介護拠点を整備します。

### 9月定例会の動き

9月5日

本会議  
提案理由の説明・議案説明  
特別委員会の中間報告・質疑  
常任委員長報告(特定事件)  
質疑

9月6日

休会  
議案調査日

9月7日

本会議  
議案質疑  
決算特別委員会の設置

9月8日

委員会  
四常任委員会並行審査

9月11日

休会  
一般質問調査日

9月12・13・15・19・20日

本会議  
市政に対する一般質問  
(25人)

9月21日

本会議  
常任委員長報告・質疑

9月22日

本会議  
討論・採決  
追加議案の上程・質疑・採決  
議員提出議案の上程採決

# 討論

## 議案・請願に**賛成×反対**します



### ■市道路線の認定・廃止関連(議案第115号～第118号)

#### ●反対●

議案第115号・第117号の道路は、市街化調整区域にあり、主に使用するの道路に面する住民だけで一般の利用は少ないと考えられる。

議案第116号・第118号は、廃止する道路上に隣接事業所が工場を拡張する予定というが、開発手続きは出していない。開発行為を市が先取りして認めることは問題である。

#### ●賛成●

当該議案は、行き止まりの道路を通り抜けるに、および未使用の道路に替えて通り抜けるの道路を整備するのである。地域の利便性や交通体系を考える上で重要な路線となる。

議案第117号の申請者は世界的に有名な卓球メーカーであり、議案否決によって他県に移転された場合、市の大きな損失になると思う。

### ■請願第5号「命の大切さを守り育てる

#### プレーパーク設置のお願い」(8ページ参照)

#### ●採択に反対●

プレーパーク設置と(株)武蔵野跡地のみどり復元策一つ一つには賛成す

るが、相容れない要件である。設置場所と土壌汚染が心配されている場所は切り離さなければいけない。

## 条例関係

新たに「所沢市施設整備基金条例」が提出され、可決しました。

また、条例の一部改正9件、廃止1件が提出され、いずれも可決しました。

### ■所沢市施設整備基金条例

築30年を経過する学校施設や公民館が増加するため、予防・保全

### 問

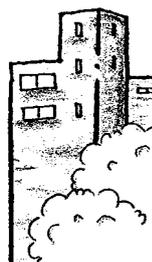
的な取り組みとして計画的に修繕を行う資金を確保するものです。

所沢市公共建築物修繕計

画の運用に充てるというが、まずこの計画があつて、この基金があるのか。

### 答

平成16年から同計画を策定し、金額の膨大さに驚いた。こうした財政負担をできる限り平準化し、速やかに計画が実施できるように基金をお願いした。



### ■国民健康保険条例の一部を改正する条例

国の医療制度の改正に伴い、被用者保険の出産育児一時金、葬祭費の支給額が見直されました。

同様に見直しを図り、出産育児一時金を5万円引き上げて35万円に、葬祭費を5万円引き下げて5万円に改めるものです。

## 財産の取得

化学消防ポンプ自動車の取得

取得金額 4,809万円

取得の相手方 株式会社モリタ東京ポンプ営業部

## 人事案件

### ■教育委員会委員任命の同意

教育委員の任期満了に伴い、次の委員の任命に同意しました。

・古敷谷千賀子氏

(北野新町・再任・57歳)

### ■公平委員会委員選任の同意

公平委員の任期満了に伴い、次の委員の選任に同意しました。

・安川利夫氏

(上新井・新任・70歳)

## その他の議案

### ■専決処分の承認を求めることについて

国の医療制度改正および低金利への借換えに伴う一般会計、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計、下水道特別会計の補正予算5件の専決処分を承認しました。



## 決算特別委員会を

### 設置しました

平成17年度一般会計、各特別会計、水道事業、病院事業会計の歳入・歳出予算の執行実績を確認し、内容を審査するため、決算特別委員会(定数10人)を設置しました。

9月定例会で付託された決算認定議案12件の審査を閉会中に行います。

### 《決算特別委員会委員》

◎秋田 孝(市民クラブ)

○谷口 桂子(公明党)

小林 澄子(日本共産党)

菅原 恵子(日本共産党)

安田 敏男(さわの会)

水村 篤弘(民主党)

小川 京子(公明党)

越後部征衛(会派「翔」)

高橋 大樹(会派「翔」)

仲村 清功(市民クラブ)

◎…委員長 ○…副委員長

■埼玉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び同組合の規約変更について

■土地所有権確認請求控訴事件の和解について

■字の区域の変更について

■市道路線の認定 3路線  
■市道路線の廃止 3路線

問 産業廃棄物処理業 計画書に係る意見

産業廃棄物処理業計画書について、埼玉県から照会があり、「ダイオキシンを少なくし所沢にきれいな空気を取り戻すための条例」に基づき、議会の意見を求める議案2件が提出され、8ページのとおりに意見を付しました。内容は、産業廃棄物処理の中間

閉会中の議会活動から

総務常任委員会

8月1日、「男女共同参画社会について」および「行政運営について」審査を行いました。

8月2日は、山口県岩国市を訪れ、基地問題について話を聞きましました。翌3日は、基地周辺と基地沖合移設地を現地視察しました。

8月4日には、静岡県掛川市の住民基本台帳カードを利用した独自サービスを視察しました。

市民環境常任委員会

7月18日、入間市一般廃棄物処理場および市内三ヶ島の(株)ジェイアールエス、8月2日は茨城県八千代町のクリーンパークきぬ、翌3日は宮城県仙台市の(株)ジャパンクリーンを現地視察しました。8月4日は、北海道函館市の競

処分業および収集運搬業の変更を行いたい旨の計画書に対するもので、事業計画者は株式会社木下フレンド、事業計画地は坂之下1142番1の一部ほか3筆です。

議員提出議案

「北方四島周辺海域における日本漁船の銃撃・拿捕事件に関する意見書」が提出され、全会一致で可

決しました(8ページ参照)。

また、「所沢市議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定について」が提出され、無記名投票による採決の結果、賛成13票、反対19票、白票1票で、否決されました。



討委員会について」および「同高齢者保健福祉計画推進会議について」審査を行いました。

8月2日、宮城県仙台市の社会福祉法人わらしべ舎で障害者の就労支援について、翌3日は同登米市の豊里小中学校で小中一貫教育について視察しました。

8月4日は、介護保険について岩手県宮古市を視察しました。

建設水道常任委員会

7月18日、東京都三鷹市の開発事業について視察しました。

8月21日には、石川県金沢市を訪れ、都市景観に関する取り組みについて説明を受けました。

翌22日、福井県福井市の住宅政策について聞き、シルバーハウジングの現地視察を行いました。

8月23日は、富山県富山市の富山ライトレールについて、体験乗車した後、説明を受けました。



▲(株)ジャパンクリーン視察

教育福祉常任委員会

7月13日、「所沢市図書館協議会について」、「同敬老会行事検

まちづくり基本条例に関する 特別委員会からのお知らせ

当委員会では、全国の市町村で取り組みが進んでいる「自治基本条例」の制定に向けた調査研究を行っています。7月25日、26日には、先進市である三重県四日市市を視察しました。

「自治基本条例」とは…

地方分権の時代にあつて、自立した自治体をつくり上げていくためには、市民をまちづくりの主役に据え、市民参加の仕組みが必要になってきました。

そのためのルールを定めたものが「自治基本条例」であり、自治体の憲法と言われるものです。



市議会では、自治基本条例制定に向けた市民アンケート調査を計画しています。

自治基本条例って何なの？

自分たちが主役になるためのきまりき。それで、どう参加するかのルールづくりだよ。

そのためには、市と市民が一緒になって、所沢市の特性を生かしたまちづくりをする必要があるんだ。

議会はどう関わるの？

議会の責任や役割も明確にしなくちゃ。だからこそ、議会として積極的に取り組む必要があるんだ。

# 市政に対する

# 一般質問

9月定例会では、25人が一般質問を行いました。質問は各議員の多くの質問項目中1項目だけを掲載しています。なお、質問内容の順は、項目ごとの各議員名順になっています。

## 環境・清掃

### 質問者

- ・高田 昌彦 (風)
- ・大石 健一 (市民クラブ)
- ・斎藤 治正 (さわの会)
- ・谷口 桂子 (公明党)
- ・高橋 大樹 (会派「翔」)
- ・脇 晴代 (共生)

### チップ堆肥置場の許可判断

**議員** 所沢新町のチップ堆肥置場設置計画に対し、行政指導を求める請願が議会で採択されたにも関わらず、許可相当となったのはなぜか。

**農業委員会会長** 慎重に審議をした結果、農地法第5条の転用許可要件を満たしていたため、引き続き説明会を開催し、住民理解を得ること、堆肥の飛散等の環境問

題に対し誠意ある対処をすることの2条件をつけ、許可相当とした。

### 食品リサイクル法の目標達成にむけて

**議員** 循環型社会の構築には、地域環境に配慮された食品リサイクル工場が必要に応じて増設されることが望ましい。今後の市の取り組みを伺いたい。

**環境クリーン部長** 食品関連業者の取り組みが進んでいないことから、食品廃棄物リサイクルを推進するため、冊子やホームページを活用している。新たな需要が発生すれば、登録再生事業者の許可も必要と考える。



### 東クリの埋設物処理に対する責務

**議員** 東部クリーンセンターの埋設物処理に関し、返却された廃プラスチック、コンクリートガラなどの適正処理が証明できていない。原因者である市と排出事業者の責務について伺いたい。

### 土日にもごみ搬入できないか

**助役** 市は発注者としてマンフェストの確認等を行い、責任を果たしていると考えますが、行政活動上、公益の立場からも責任を負っているため、排出事業者に対し、事実究明を強く求め、調査を実施した。

**議員** 一般ごみや粗大ごみの搬入は平日だけなので、土日しか時間がとれない家庭では搬入ができない。月1、2回でも土日搬入を実施できないか。

**環境クリーン部長** 搬入時の市民への安全対策のため、通常の職員

体制の確保が必要になる。市民からの要望もあり、月1回でも土曜の午前中に限り実施できるように前向きに検討したい。

### C系炉を停止しコスト削減

**議員** 西部クリーンセンターの炉はA、B系炉だけの稼働でも、燃やせるごみの処理は十分可能である。C系炉を停止し、年間約1億1,700万円のコストを節約するべきではないか。

**環境クリーン部長** 昨年から部内プロジェクトチームを発足し、「一般廃棄物処理基本計画」の見直しを行っている。その中でC系炉の休止についても前向きに検討したい。

### 自然保護と最終処分場計画

**議員** 第二一般廃棄物最終処分場の候補地に谷戸が残っている。

しかし、この地は市が保全を最優先に行くと約束している狭山丘陵の水源地である。今後、希少動植物の生息調査は候補地絞り込みの段階で実施するのか。

**環境クリーン部長** 候補地が当地区に決定した場合には、生態系を含む詳細な調査を実施し、専門家の意見を伺いながら、適切な対応を図る。

## 福祉

### 質問者

- ・安田 義広 (会派「翔」)
- ・小林 澄子 (日本共産党)
- ・平井 明美 (日本共産党)
- ・赤川 洋二 (民主党)
- ・城下 師子 (日本共産党)
- ・荒川 広 (日本共産党)

### 生活保護における資産活用助言

**議員** 生活保護において、所有する家を担保に生活費を貸し付けるリバース・モーゲージなど資産活用助言はしているのか。

狭山丘陵の谷戸



**保健福祉部長** 不相应な不動産を持つ方でも、窮迫状態にある場合、一旦保護し、売却後に扶助費相当額の返却を指導している。

リバース・モーゲージは社会福祉協議会を窓口として実施し、昨年度は17件の相談があった。

### 介助が必要な方の 災害時の避難

**議員** 重度身体障害者や寝たきりの高齢者など災害時の避難が困難で、親族や近所の人に介助が得られない方を対象に、一般の避難とは別に市が誘導・介助することはできないか。

**危機管理担当理事** 現在、災害時要援護者支援マニュアルの作成を進めているので、今後はこれに基づき自治会、町内会など地域の組織にもご協力をお願いしたい。

### 小児医療体制の 整備は広域で

**議員** 清瀬小児病院の移転後、24時間体制の小児医療体制は急務である。所沢市だけの対応では難しい面もあるため、現在ならばらの体制になっている狭山、入間と共に現状を出し合い、県が広域で施設を設置するなどの方法がとれないか。

**市長** ある程度大きな規模でないに対応しきれない面もあり、3市

とも同じ課題を抱えているので、3市の市長で十分協議したい。

### 障害者自立支援 低所得者への独自策は

**議員** 障害者自立支援法が施行され、国の基準だけでなく、独自策を展開している自治体もある。市民の生命、財産を守る意味で所得の低い方に対する、市独自の施策を実施するべきではないか。

**保健福祉部長** 障害者自立支援法自体にも負担軽減策が講じられているが、これに加え市独自の負担軽減策実施に向け、検討しているところである。

### 5歳児健診で 発達障害の早期対応

**議員** 発達障害の早期対応の面から5歳児健診は有効である。法定外の健診ではあるが、発達障害者支援法でも早期発見、療育を自治体の責務としている。当市でも実施できないか。

**保健福祉部長** 現状の体制の中では難しいが、国の動きでは5歳児についても近い将来検討の方向に向かうとの情報もあるので、今後、市でも検討はしたい。



### 介護難民があふれる懸念

**議員** 医療制度改革により、長期入院に対応する療養病床が大幅に削減される。削減に係る転換分は見込まれているのか。

**保健福祉部長** 第4期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に反映させる予定である。それまでは、老人保健施設、特定施設、特養老人ホームの計画範囲内で転換を認めることができ、地域介護福祉空間整備交付金で対応する。

## まちづくり行政

### 質問者

- ・岩城 正広 (公明党)
- ・村上 浩 (公明党)
- ・水村 篤弘 (民主党)
- ・安田 敏男 (さわの会)
- ・村田 哲一 (民主党)
- ・越阪部 征衛 (会派「翔」)

### わかりやすい公会計で 将来設計を

**議員** これまでの公会計は単年度のお金の出入しか記帳しないため、財産や借金、事業のコストが明確ではない。限られた経営資源を効率的・効果的に活用するためにも

複式簿記を採用できないか。

**財務部長** これまで、バランスシートや行政コスト計算書を段階的に導入し、今年度は事業会計を含めて準備をしている。今後、国の動向をみて、制度導入を検討する。

### 許せない！ 飲酒運転事故

**議員** 福岡市をはじめとした職員飲酒運転事故を市長としてどのように受け止め、対応をしたか。また、処罰規定の見直しは検討しているのか。

**市長** 全体の奉仕者である公務員が犯した危険行為は言語道断と考える。改めて全職員に交通法規の遵守と交通事故防止の通達をした。処罰規定については、厳しい対処を検討するよう指示している。

### プール事故を受け 民間委託のチェック体制は

**議員** ふじみ野市で起きたプール事故は、委託業者による下請への業務丸投げや市のずさんなチェック体制に問題があった。民間委託している業務全般のチェック体制はどのようになっているか。

**総合政策部長** 業務の実態に即し、現場の立会いを行うなど、事業が適正に執行されているか確認するため、それぞれの分野で必要な検査を行っている。



▲とことろバス

### とことろバスの100円有料化

**議員** とことろバスの利用者の7割以上は無料パスを使用している。東村山市のグリーンバスは人気があり、誰でも100円を払っている。所沢も有料にするべき時期にきているのではないか。

**市長** 現在、財政状況を踏まえて検討をしている。また、利用者の要望、運行経路の改善を含め、市の状況も参考にしながら総合的に判断したい。

### 一般競争入札を 原則にすべき

**議員** 国は公共工事における談合防止の観点から指名競争入札の原則廃止を検討している。指名競争入札が大半を占める当市も、より落札率が低くなる一般競争入札を原則として、入札方法を改善すべきではないか。

**助役** 不正行為の防止を図るため、現場説明会省略方式や電子入札を取り入れているが、今後、要綱を見直し、競争性を高めたい。

### 新たなコミュニティの構築

**議員** 公民館、出張所などを統合して地域コミュニティの受け手とする「地区センター」の検討状況はどのようになっているのか。

**総合政策部長** 出張所、公民館の役割をコミュニティ推進機能、窓口サービス機能、生涯学習機能、に再編成し、地域コミュニティ拠点施設としての検討している。検討結果は18年度中には取りまとめの予定である。

## 教育・生涯学習

### 質問者

- ・浜野 好明 (市民クラブ)
- ・桑田 健也 (会派「翔」)
- ・岡田 静佳 (市民クラブ)
- ・浅野 美恵子 (民主党)
- ・矢作 いづみ (日本共産党)
- ・秋田 孝 (市民クラブ)
- ・森生 郁代 (さわの会)

### コートの改善で

#### テニスの普及

**議員** テニスは家庭や地域のコミュニティ増進の場として、手軽に楽しめるスポーツである。

テニスの普及を考えた時、全天候人工芝のコートに替えるべきではないか。

**教育長** 人工芝のコートは雨の後の利用効率やソフトテニスにも対応可能なこと、膝への負担も少ないことなどからも有効と考える。スポーツ振興計画に基づき計画的な整備を検討したい。

◀ テニスを楽しむ(航空記念公園)



### 軽度発達障害児の

#### 通級に対する取り組み

**議員** これまで、通級の対象外であった軽度発達障害の児童・生徒が、正式に通級の対象となった。通級に関してこれからのどのような取り組みを進めるのか。

**学校教育部長** 発達障害・情緒障害通級指導教室についても、ニーズを踏まえながら前向きに検討する。今後、特別支援教育専門家チームを中心に関係部署と連携していきたい。

### 子どもの安心安全

#### 常時メール配信を

**議員** 電子メール配信システムは、不審者等の情報を共有し、事件を未然に防ぐために導入されたが、運用の日・時間が限られている。24時間365日配信できないか。

**教育長** 個人情報管理を外部に委託せず、学校で厳重に管理するシステムのため、常時配信に対応していない。したがって、夜間や閉庁時は、従来の手段で適切に対応する。

### ホームページを活用し

#### 絵本の紹介を

**議員** 子育て中の母親から、図書館が遠く、移動図書館も来なくなり、絵本が借りにくいとの話を聞



く。コンビニからでも借りやすくするために、ホームページで絵本の紹介ができないか。

### 放課後子どもプランで

#### 市の施策展開は

**議員** 国ではすべての小学校区で放課後の子どもの安全で健やかな活動場所を確保し、総合的な放課後対策を実施するための予算要求がされている。これを受け、市はどのように対応するのか。

**学校教育部長** 国や県の放課後子どもプランの動向を見定めるとともに、地域住民が児童健全育成として取り組む、ほうかごところの新規立ち上げを引き続き支援する。

### 中高一貫教育で

#### 特色ある都市へ

**議員** 中高一貫教育は県をはじめ各地で検討されている。教育推進都市として知名度を高めるといった視点からも、男女別学で中高一貫校の設置ができないか。

**市長** 中高一貫教育校についてはさまざまな弊害や利点が指摘されている。今後は効果に注視し、男女別学を含め、可能性などについて教育委員会とも連携を図り、研究したいと考える。

### 情報化社会の

#### 危機回避教育

**議員** インターネットなどによる犯罪が増加し、社会経験の少ない小中学生が無防備にIT社会に入り込むのは危険である。教科の中でのように位置付けているのか。

**教育長** 中学の技術・家庭科で、情報化の進展がもたらす利便性と危険性について指導している。また、教育センターにおいて、情報モラル育成の研究を行い、実践化を図っている。



## 請願・陳情審議の結果（9月定例会）

| 件名                                | 提出者                                     | 結果            |
|-----------------------------------|---|---------------|
| ○請願第4号<br>手話通訳派遣事業の現行制度の維持に関する請願  | 所沢市聴覚障害者協会<br>会長 仲重夫さん（上新井）<br>ほか3,266人 | 採 択<br>（全会一致） |
| ○請願第5号<br>命の大切さを守り育てるプレーパーク設置のお願い | 佐久間信樹さん（下富）<br>ほか1,061人                 | 議決に至らず        |



**【議決に至らず】** 議決をするには、出席している議員の半数を超える数が必要です。請願第5号については、無記名投票による採決の結果、投票総数33票中、採択に賛成15票、反対12票、白票6票となり、採択、不採択とも過半数に達しませんでしたので、議決に至りませんでした。

### ▶▶市議会っ3か月▶▶

- 7月4日 まちづくり基本条例に関する特別委員会
- 12日 議会報委員会
- 13日 教育福祉常任委員会
- 18日 市民環境常任委員会視察  
建設水道常任委員会視察
- 25～26日 まちづくり基本条例に関する特別委員会視察
- 8月1日 総務常任委員会
- 2～4日 総務常任委員会視察  
教育福祉常任委員会視察  
市民環境常任委員会視察
- 17日 議会運営委員会  
市民環境常任委員会
- 21～23日 建設水道常任委員会視察
- 28日 まちづくり基本条例に関する特別委員会
- 29日 代表者会議／議会運営委員会
- 9月5～22日 第3回定例会
- 19日 議会報委員会
- 25、26日 決算特別委員会

### 可決された意見書

市議会では、意見書を行政機関等に提出することで解決を求め、議会としての意思を表明します。

#### 北方四島周辺海域における

#### 日本漁船の銃撃・拿捕事件に関する意見書

北方四島の貝殻島付近海域において、去る8月16日に根室市のかに漁船「第31吉進丸」がロシア国境警備隊から銃撃の後拿捕され、乗組員4名のうち1名の尊い人命が失われるという痛ましい事件が発生した。

非武装である漁船に対する銃撃は、いかなる理由があろうとも正当化できる事案ではなく、極めて遺憾な行為である。また、この事件の背景には、いまだ解決されていない北方領土問題が存在しており、その早期解決に向けた最大限の努力が求められているところである。

よって、国においては、本事件の真相究明と再発防止などを図るため、次の措置を講ずるよう強く求めるとともに、北方領土の一日も早い返還実現のため、より強力な外交交渉を行うよう要望する。

1. ロシア政府に対し厳重に抗議すると共に、事実関係を早急に確認すること。
2. 拘束されている船長及び船体の早期解放をロシア政府に強く要求すること。
3. 北方四島周辺海域における安全な操業を確保すること。

提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、外務大臣、農林水産大臣、国土交通大臣、内閣府特命担当大臣（沖縄及び北方対策）

次の定例会は  
12月4日からの予定です。  
傍聴をお待ちしています。



### 編集後記

議会報アンケートにご協力いただき、1年がたちます。紙面に皆さんの声が生かされていますか。議会の活動状況、議案の審議や一般質問の内容等、広く知っていただくため、今後とも努力していきます。引き続きご意見やお気づきの点をお寄せください。（浅）

- 委員長 小林 澄子
- 副委員長 浅野美恵子
- 委員 島村 省吾 中村 太
- 大石 健一 桑島 健也
- 脇 晴代 高田 昌彦
- 高橋 広成

連絡先 議会事務局調査担当  
(TEL 04-2998-9256/FAX 04-2998-9222)

### 諮問 第1号 産業廃棄物処理業計画書に係る意見

諮問第1号・第2号については、9月8日現地調査を実施し、協議した結果、次のとおり意見を付すことに決しました。

- 1 破碎・圧縮・熔融・集塵器などの施設にあっては、維持管理を徹底した上、安全性を確保し、特に、振動、騒音、臭気、飛散、流出、地下浸透について環境保全対策に万全を期すこと。また、周辺地域の生活環境の増進に配慮すること。
- 2 木くずについては、限定解除後も可能な限り再生利用に努めること。また、新規取り扱いとなるガラスくず、コンクリートくず、陶磁器くずの3種類については、今後も事業者の意向のとおりにガラスくずに限定すること。
- 3 廃蛍光管の積替え保管については、破損の防止、もしくは破損した場合の環境保全に万全を期するよう慎重に取り扱うこと。
- 4 中間処理した廃棄物については、保管期間、保管の高さなど、保管基準を遵守すること。
- 5 事業場内は、常に整理整頓に努め、清潔さを維持すること。
- 6 県外からの廃棄物の受入れについては、極力抑制するよう努めること。

付記 本件については、アスベスト等に対する不安から、業務の変更に対抗する少数意見があったことを付す。